

つなぐ

2016 AUTUMN Vol.5

ISSUE 31 ARCHITECTS

くらしを楽しむつくり方



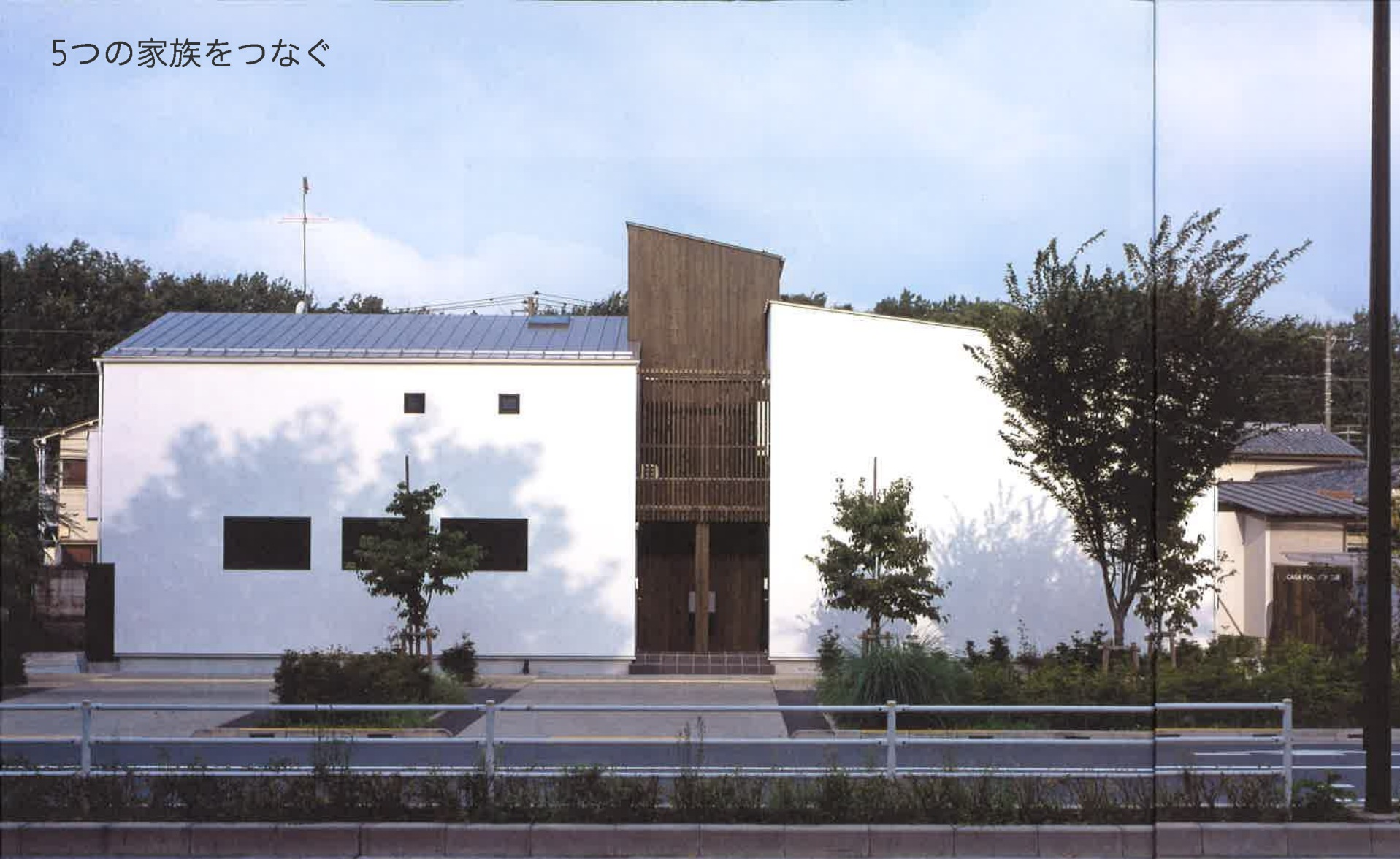


photo by Takuya Shimosato



佐藤 剛

Sato Go

一級建築士事務所 A-SA工房

東京都三鷹市下連雀3-33-17-403
tel. 0422-44-7255
www.architect-sato.com



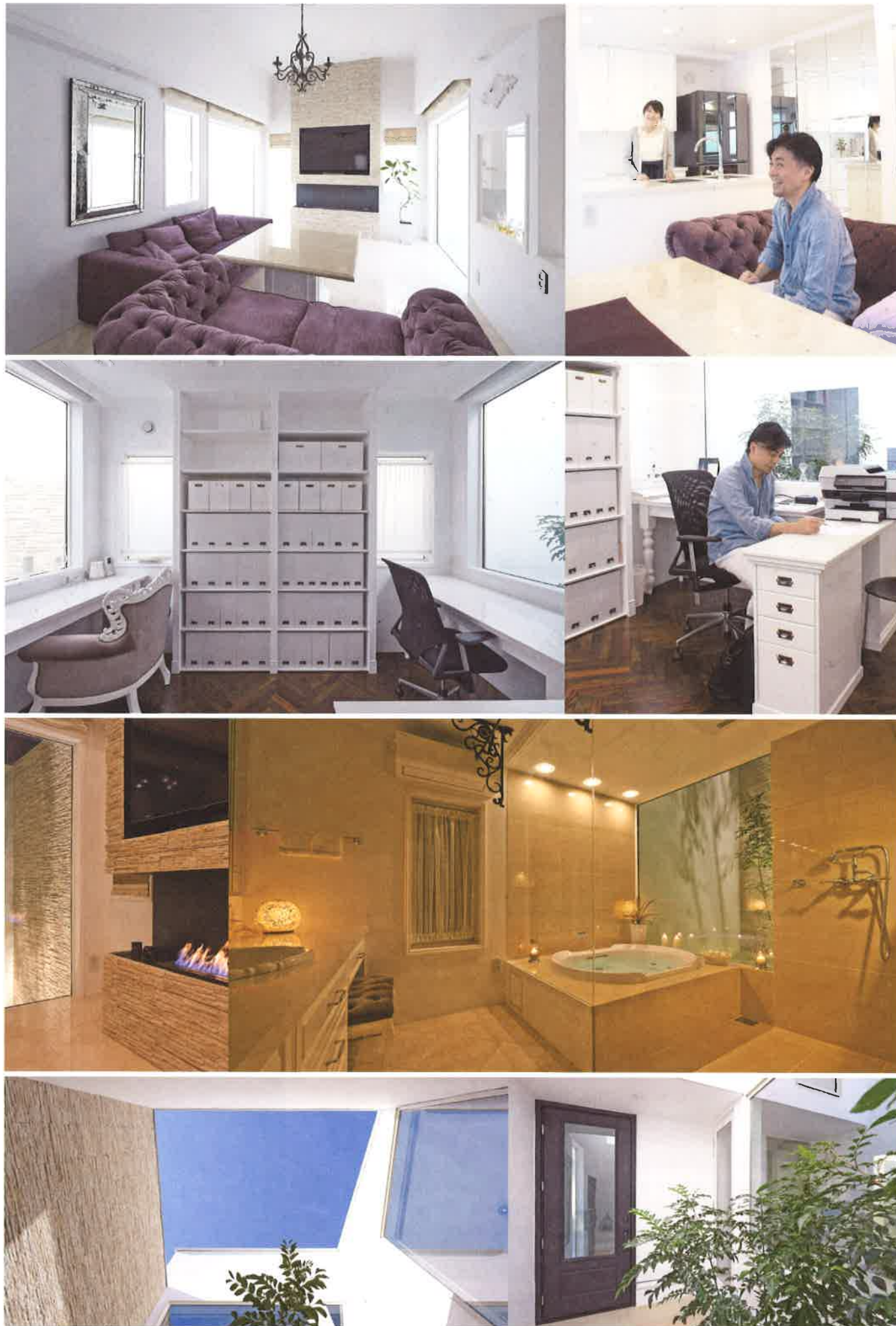
オーナーの依頼は、変形敷地に集合住宅を建築すること。駅から少し離れた土地で、利便性の点から不利な条件であるため、何か付加価値を持たせたいというのがオーナーの希望だった。

建築家の佐藤さんは、試行錯誤の末、「長屋」スタイルを提案、武蔵野の面影が残る緑豊かな変形敷地に路地を生かした5戸の集合住宅をプランニングした。一般の集合住宅がそうであるように、5戸は面積・構造はすべて60㎡、LDK+2つの個室を備えた2階建てで統一されているが、間取りがそれぞれ異なるのが特徴。

変形敷地を効率よく生かせるように5戸は風車のように配置されており、形や方位が異なるものの、採光はその条件の違いを逆手にとって計画された。トップライトを設置した部屋、デッキを設けた部屋、屋上のある部屋と、どれも個性的で魅力があふれている。また5つの玄関は建物のさまざまな方向に配置されており、ドアが画一的に並ぶ一般の集合住宅とはだいぶ趣が異なる。さらに郵便受を各住戸ごとに設けたり駐輪場を2カ所に配置するなど一戸建て感覚を持たせる配慮もされている。

外観は、白い外壁のアクセントに焼杉を使用して、武蔵野の環境に溶け込むようにデザインされた。建物の周囲に設けた路地が5つの住宅をゆるやかにつなぐ。





余田 正徳

Yoda Masanori

YODAアーキテクト

東京都杉並区高井戸東2-3-6
tel. 03-5941-8587
<http://www.yoda-archi.com/>

建築家の余田さんは、自邸を新築するにあたり、仕事場を取り込んだ住まいを計画した。1階がアトリエ、2階が居住スペースという間取り。

ドアを開けると視線に飛び込んでくるのは光があふれる中庭。もうひとつの玄関ドアを開けて室内に入る。このワンステップが気持ちのよい開放感を得るために絶大な効果をあげている。

1階のアトリエは東西に大きな開口が設けてあり、存分に外光を取り入れる。ご夫婦のデスクはそれぞれ東と西の窓に向かって配置され、ふと目を上げると窓の外に中庭のグリーンが見える。「居心地がいいので以前より仕事時間が長くなった」のだそう。

食事は2階のリビングダイニングでとる。階段を上がって移動することで職場から住まいへ気分を切り替える。アトリエの床はローズウッドを使用、他は大理石と、床材の変化が気分の切り替えを手助けする。

内装はインテリアデザインを手がける奥様がすべてをアレンジした。家具やカーテン、照明計画はもちろん、水まわりのタイル、ドアノブや収納の取っ手といった細部にいたるまで、妥協を許すことなくことごとこだわった。その結果、あらゆるものを施主発注するという手間のかかる作業を経て、奥様のセンスが最大限生かされた大満足の仕上がりに。



介護をつなぐリビングの吹き抜け

高齢のお父様と介護を考える娘さん、おふたりの住む小さな住宅です。お父様の体の具合を気にしながらも、年中一緒では、介護する側が疲れてしまいます。1階のお父様の生活スペースと、2階の娘さんの部屋を少し離しながら、気配でつなぐための吹き抜けです。

磯村一司 + 政本邦彦

株式会社ギルド・デザイン
tel. 03-3375-3745
<http://www.guild-design.com>

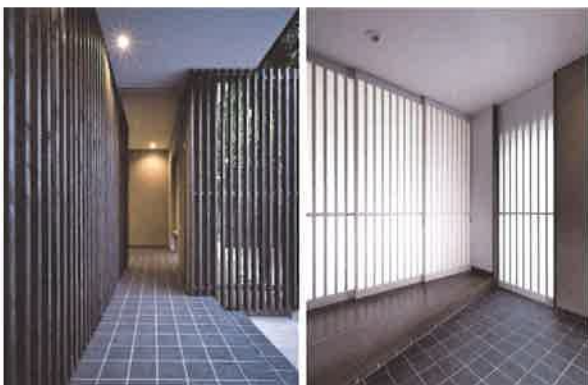


二つの世帯と二つの庭をつなぐ土間

平屋の親世帯住戸とスキップフロアの子世帯住戸を横並びにつなげた二世帯住宅です。建物の南北には、性格が異なる二つの庭が広がります。二世帯と南北の庭を結びつける要の位置に、土間を設けました。土間は二世帯の関係をほどよく調整する空間となっています。

角倉 剛

(有)角倉剛建築設計事務所
tel. 03-5304-8848
<http://www.smkr.jp>



格子でつながる内と外

終の住処として築35年の住宅をリノベーション。石畳の続く街並みに合わせ、外観だけでなく内部建具まで木格子を取り入れた。外から内までひとつながりの和モダンで美しい空間を実現。風や光を通してながら、視線を遮るなど多機能に働く格子が効果を発揮した。

滝川 淳

コネクト一級建築士事務所
tel. 03-5942-7367
<http://connect-arch.net>



自然と住まいをつなぐ「室内化したテラス」

自然を感じられる場所が住まいにあると、豊かな気持ちで暮らしていけるのではないのでしょうか。写真はリビングとダイニングに面したテラスで、隣地側の2面は壁で囲い、孔を開けた屋根にかけて「室内化」することで、自然と住まいのつながりを強めています。

石井正博 + 近藤民子

設計事務所アーキプレイス
tel. 03-3377-9833
<http://archiplace.com>



家の機能と環境をつなぐガラス階段

上下の部屋を縦につなぐ階段が、光と風を家中に行き届かせます。また、前後にはキッチンとリビングの間を、部屋の一体感を持たせながらつないでいます。家の中心に位置するこの階段は、間仕切りの役目も担いつつ、家全体をやりわりつなぐツールです。

大川宗治

一級建築士事務所OM-1
tel. 03-6426-2480
<http://om-1sekkei.com>



土間空間がつなぐ

玄関である土間空間を中心にSIC、パントリー、キッチン、お母様の部屋へと平面的に広がり、2.5層分の吹き抜けを介しスキップフロアが垂直方向につながります。その土間空間はご家族がこよなく愛するロードバイクとその仲間との大切な時間をつなぐ居場所でもあります。

大塚あや

space33一級建築士事務所
tel. 042-337-1510
<http://www.space-33.com>



寛ぎの場と食事の場をつなぐテーブル

ソファでの食事は、コーヒーテーブルでは低過ぎダイニングテーブルでは高過ぎます。リビングとダイニングをそれぞれ設けるよりも、それらをつなぎ空間を有効に活用するため、ソファでの食事に適した高さのテーブルをつくりたいという建築家のアイデアを形にしました。建築家の自邸ならではの実験的な試みです。設計は株式会社YODAアーキテクトさん、インテリアデザインが奥様という役割分担がポイントかと思います。すっきりとした設計にエレガントなインテリアで細部まで徹底したデザインになっています。私がかかったのは、ベッドのヘッドボードとリビングのテーブルです。ヘッドボードは一枚物で綺麗に見える格子のステッチの大きさやボタンのサイズまで計算されたデザインです。ダウンライトが格子のピッチと合う位置に設置されています。ヘッドボード製作上のこだわりは3点。ソファが決まっていたので、ソファの生地と相性の良い生地選び。同色系でトーンが明るく照明があたると表情が綺麗に見える光沢のある生地。イギリスのZINC社の物を選びました。格子のステッチは折り返しを付け生地のつなぎ目が表に出ないようにしています。生地幅より幅の大きなヘッドボードなので。格子の表情が生きるクッションの厚みにもこだわりました。正面から見た時にエレガントな表情と柔らかな厚みを感じられるようにサイドもボタン締めになっています。根井 淳/NE-1



1. リビングテーブル 2. 設計者の余田夫妻と豊富な経験と技術によって設計者のディテールをサポートする根井氏 3. 寝室へのアプローチ

デザインはすべて株式会社YODAアーキテクト

根井 淳

建築家のアイデアを形にする
NE-1 エヌイー・ワン
神奈川県横浜市神奈川区青木町5-25-902



古川 達也
Furukawa Tatsuya

古川都市建築計画一級建築士事務所

横浜市中区根岸町3-176-90-312
tel. 045-623-8994
<http://furukawa-arch.com/>



庭をシェアする

三人姉妹が育った実家は、母が丹精込めて育てた広い庭がある家だった。この土地を2つに分割して、次女家族の家を新築、残りの半分を売却する計画を立てた。次女の家は道路から向かって左側の角地に建設。新築にあたってアウトドア派の次女家族が希望したのは、車2台が駐車でき、車の荷物が容易に出し入れできること。1階のLDKに広い掃き出し窓を設けることでこの希望を実現した。主寝室とご主人の部屋、子供部屋と、家族それぞれのプライベートスペースは2階に配置。シンプルな長方形の建物の2階バルコニーの外壁にはレッドシダーを貼り、「垂直の庭」に見立て、外の自然とのつながりを演出した。既存の植栽を活かした各所の花壇スペースと、ベランダの花台もまた、外とのつ

ながりに役買っている。

売却予定だったもう半分の土地には、三女の家を建てることになった。その決断には、家族が集まって暮らす楽しさを実家のあったこの土地で実現できるのではないか、そんな想いがあった。

三女の家は、道路に面した部分を開放し、敷地の奥に配置。これは次女の家を南面をふさがず開放するという配慮から生まれた計画だ。中央に設けた共有の庭が2つの家の暮らしをつなぎ、来客用の駐車スペースとして機能している。

家族が庭をシェアすることでかなう心地よい距離感。家族だからこそ生まれたつながりのある2つの住まいには、近隣に住む母や長女も頻りに訪ねてくるという。



兄弟各々二世帯住宅で「つなぐ」家の工夫

株式会社 北島建築設計事務所
北島俊嗣

◆アパートの建て替え

横浜の妙蓮寺にほど近い敷地には、もともと古い2階建て木造アパートが建っていました。先の東日本大震災の揺れが激しかった模様で、入居者のほとんどが退去されてしまいました。そこで大家さんは、既存のアパートを解体して、ご子息兄弟2人のそれぞれの家族の住まいを分けて、2棟建てることにしました。

◆兄弟2棟、各々二世帯住宅対応

ご兄弟とも未だ幼いお子さんがおられるご家族で、それぞれのご両親は皆様ご健在です。将来の暮らしを踏まえて、両ご家族とも、ご両親とご一緒に二世帯住宅をご希望になりました。ただし、今すぐには同居しないので、ご両親がいつか移り住むためのスペースを確保しておき、水廻り設備は共有するか、もしくは同居が始まる時にお風呂やトイレなどの設備機器が新たに設置できるように、そのスペースと準備配管を用意しました。最近は二世帯住居のご希望が非常に多いです。単にその時だけの暮らしを考えるだけでなく、世代を「つなぐ」住まいの創り方が求められる時代になっていると感じます。

◆3階建ての、玄関とリビングをつなぐ吹き抜け・庭と居間をつなぐ縁側

お兄様のご家族の家は3階建てで、1階がご両親のスペースになりますので、2階に1室のリビングダイニングキッチンが設けられました。この家の心臓部であるリビングは、地上玄関とつながるように階段に沿って吹き抜けが設けられ、家族の出入りや帰宅が身体で感じられるようにしました。また1階のリビングは縁側で囲み、周囲に巡る草庭とつなげました。来訪するお客様をもてなす広い空間で、様々な楽しみ方ができる、居間＋縁側＋草庭が、つながった空間です。

◆2階建ての、ダイニングキッチンに陽射しをつなぐ吹き抜けリビング

弟様のご家族の家は2階建てで、陽当たりの悪さを心配されていました。そこでリビングを屋根まで届く吹き抜けにして、日射しを1階リビングまで取り込めるようにして、陽当たりの悪さを解消しました。このリビングは2階の個室、小屋裏ロフトに面していて、家族の個室をリビングでつないだ大空間になりました。

◆2棟をつなぐバルコニー

隣り合う3階建てと2階建ての家の外部空間には、家族それぞれのご希望がありました。駐車場には屋根、物干場は陽当たりの良い2階、窓には雨除けの庇、門構えのような雰囲気、2階リビングの前面には連続する広いバルコニー、等々でした。これらのご希望をできるかぎり単純な要素で集約した機能で解決したものが、2棟を水平につなぐ長いバルコニーでした。このバルコニーは、地上部分では屋根や庇、ある部分では門、2階では広場になり、物干場になっており、この兄弟の二世帯住宅並列住宅になくてはならない要素となりました。

from Editors

編集後記

ISSUE 31 Architects vol.5 [つなぐ] をご覧いただきありがとうございます。今回の特集は、ドア、キッチン、カラー、ウッドといった建築的キーワードを元にまとめて来た vol.4 までとは少し趣向を変え、「つなぐ」という行為をテーマにしています。中庭であったり、天窓であったり、様々な建築的手法はすべてそこに暮らす人々の生活を豊かにするためのアイデアです。壁のつくり方、扉の開け方、窓の取り方などの工夫で、建築は人の動作や気持ちの様々な変化を誘発する事ができます。「つなぐ」をテーマに建築事例を紐解いた時、建築的アイデアを媒体としてそこにはどのような生活シーンが展開されているのか。ここに掲載されたものを通して、裏にある建築家の想いを少しでも伝えられたら幸いです。

(編集長 佐藤 剛)

発行元 建築家31会協同組合 出版委員会
編集長 佐藤 剛
編集 田邊恵一 松永 基 高野洋平 南部健太郎 標由理
編集協力 谷口裕子
表紙写真 下里卓也
協賛 NE-1 エヌイー・ワン

建築家31会協同組合 出版委員会
http://kenchikuka31.net/
横浜市中区海岸通4-24 万国橋SOKO 301-b tel. 045-680-5339

建築家たちと、会える、話せる。 家づくりのパートナーに、建築家を選びませんか？私たちがお待ちしています。



阿川 宮島
株式会社アリバーズ コエタロデザインオフィス
東京都日野市神明2-2-4 B
tel. 042-582-8852 e-mail koetalo@koetalo.com



石井正博＋近藤民子
設計事務所アーキブレイス
東京都渋谷区本町1-20-2 パルムハウス初台301
tel. 03-3377-9833 e-mail archiplace@mbg.nifty.com



石川利治
3'D空間創考舎一級建築士事務所
東京都港区赤坂 7-2-17 赤坂中央マンション602
tel. 03-5772-6522 e-mail ishikawa@a-ddd.com



泉谷吉信
Itchy's Art Garage Totally Happy Creations 一級建築士事務所
神奈川県三浦郡葉山町下山口1064-5
tel. 046-807-1151 e-mail y_itchy@ybb.ne.jp



磯村一司＋政本邦彦
株式会社 ギルド・デザイン一級建築士事務所
東京都渋谷区代々木2-26-1 1 泉野ビル1-B
tel. 03-3375-3745 e-mail iso@guild-design.com



市村宏文
株式会社 エルスト
東京都中央区八丁堀4-14-7 ウィンド八丁堀ビル703
tel. 050-5539-9699 e-mail ichimura@erst.jp



大川宗治
一級建築士事務所OM-1
東京都豊島区高田3-7-15 Funayama Building 2F
tel. 03-6426-2480 e-mail mu_ohkawa@om-1sekkei.com



大塚あや
space33 一級建築士事務所
東京都多摩市桜ヶ丘2-42-29
tel. 042-337-1510 e-mail aya@space-33.com



岡部克哉
株式会社 岡部克哉建築設計事務所
東京都港区芝1-13-19 モービルワン2F
tel. 03-5419-3331



北島俊嗣
株式会社 北島建築設計事務所
横浜市中区太田町1-18-2
tel. 045-212-2547 e-mail kitajima@mx4.tcn.ne.jp



幸田真一
幸田真一建築設計事務所
東京都三鷹市牟礼5-9-1-2F
tel. 0422-26-6865 e-mail mail@kudas-architects.com



高野洋平
一級建築士事務所 高野洋平建築設計事務所
東京都渋谷区鉢山町11-1 アレンツ代官山101
tel. 03-6416-9335 e-mail kohno@yoheikohno.com



河辺 近
ken-ken inc., 一級建築士設計事務所
横浜市中区海岸通4-24 創造空間万国橋SOKO301-B
tel. 045-222-8303 e-mail aa@ken-ken-a.co.jp



小林真人
株式会社 小林真人建築アトリエ
東京都目黒区緑が丘2-18-11
tel. 03-5701-8790 e-mail atelier-mahito@mub.biglobe.ne.jp



菰田真志＋菰田晶
有限会社 菰田建築設計事務所
埼玉県さいたま市見沼区南中丸1129-3
tel. 048-683-7899 e-mail komoda@archi-komoda.co.jp



佐藤 剛
一級建築士事務所A-SA工房
東京都三鷹市下連雀3-33-17-403
tel. 0422-44-7255 e-mail go@architect-sato.com



清水禎士＋清水梨保子
トレス建築事務所
東京都港区麻布十番4-3-1-1090
tel. 03-5443-6140 e-mail info@tres-architects.com



鈴木恵介
株式会社 空間計画提案室
東京都港区南麻布4-13-7 鈴掛ビル6階
tel. 03-6721-9169 e-mail suzuki@kookan.jp



角倉 剛
有限会社 角倉剛建築設計事務所
東京都渋谷区代々木4-19-14 ニューハイツ切り通し301
tel. 03-5304-8848 e-mail sumikura@smkr.jp



高橋正彦
佐賀・高橋設計室
神奈川県三浦郡葉山町一色2151-1
tel. 046-876-9186 e-mail masa@takahashi-arch.com



滝川淳＋(標由理)
コネクト 一級建築士事務所
東京都中野区新井4-15-5-403
tel. 03-5942-7367 e-mail info@connect-arch.net



田邊恵一
株式会社 田辺計画工房
東京都目黒区鷹番2-16-12 3F
tel. 03-5768-2878 e-mail tanabe@xc4.so-net.ne.jp



筒井紀博
一級建築士事務所 筒井紀博空間工房
東京都杉並区久我山4-1-9 久我山ビル401
tel. 03-3247-8922 e-mail tsutsui@kitts.jp



中村雅子
株式会社 タジェール
東京都杉並区大宮2-13-10
tel. 03-5305-2773 e-mail taller@ci.mbn.or.jp



南部健太郎
Ar-K 一級建築士事務所
東京都品川区上大崎3-5-4 第一田中ビル401
tel. 03-3443-6553 e-mail info@ar-k.net



古川達也
古川都市建築計画
横浜市中区根岸町3-176-90-312
tel. 045-623-8994 e-mail furu513@nifty.com



前田 敦
前田敦計画工房
東京都新宿区上落合1-27-6 KAFKA HAUS 305
tel. 03-5937-5853 e-mail mac@mac-atelier.com



松下慎太郎＋(鈴木崇志)
一級建築士事務所 タスエス
東京都杉並区西荻北1-9-20-201
tel. 03-6325-8426 e-mail info@tas-s.com



松永 基
エムズワークス 一級建築士事務所
横浜市中区海岸通4-24 創造空間万国橋SOKO301-B
tel. 045-680-5339 e-mail motoshi@msworks-arch.jp



余田正徳
株式会社 YODAアーキテクト
東京都杉並区高井戸東2-3-6
tel. 03-5941-8587 e-mail yoda@yoda-archi.com

TIME SPACE Architecture



旧作への想い
高橋正彦



この建物の完成は2002年の春。湘南の江ノ島が見える場所に建っています。

もともと東京で生まれ育った僕は、まったくの偶然で湘南にアトリエがある建築家の事務所に入りました。そこでしばらく仕事をしているとだんだんとこの地域が好きになり、結果そのままここに住み着いてしまいました。

東京と比べても比較的温暖で、なんとなく開放的な地域。平日の昼間から、なぜかいい大人が短パンとビーチサンでウロウロしていて、しかもそれが風土的に許される。そんな自由な雰囲気もこの地域を気に入った理由の一つです。

設計するにあたっては、とにかくこの地域の特性を最大限取り込めるようにしようと考えました。明るい日差し、海から吹き抜けてくる風、開放的な間取り。この建物をそのまま東京に持っていったとしても多分住みにくいでしょうね。

しかし、そんな経験から計画する敷地の持っている特性や個性などをしっかり読み取る習慣が自然と身につきました。設計するときにはいつもその場所に行って敷地の声に耳をすませ、土地の持つ個性を読み取る努力をします。

そういう意味では僕にとって、敷地の特性というのは大切な共同設計者なのかもしれません。



佐賀・高橋設計室
神奈川県三浦郡葉山町一色2151-1
tel. 046-876-9186
fax. 046-876-9196
<http://www.takahashi-arch.com/>